



平成 28 年 6 月 11 日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号：6264 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 藤山 敏久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 28 年 5 月度 月次受注残高等についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 28 年 5 月度の月次受注残高とその他情報を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	181	49.3%	31.7%	14.7%
F P D 分野	173	47.1%	△6.3%	△9.6%
その他分野	12	3.5%	8.4%	△32.1%
合計	367	100.0%	9.9%	△0.3%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	H27.6月	7月	8月	9月	10月	11月
半導体分野	171	159	158	143	133	105
F P D 分野	187	252	237	202	250	250
その他分野	26	44	47	37	22	12
合計	386	456	443	383	406	368

区分	12月	H28.1月	2月	3月	4月	5月
半導体分野	99	100	91	117	137	181
F P D 分野	233	217	199	176	184	173
その他分野	13	12	13	12	11	12
合計	346	330	304	306	334	367

3. 月次受注残高の概況

平成 28 年 5 月末の受注残高は、半導体分野において受注が増加し、対前月増減率は 31.7%増、対前年同月増減率では 14.7%増の 181 百万円となりました。FPD 分野においては、出荷検収が好調に推移し、対前月増減率は 6.3%減、対前年同月増減率では 9.6%減の 173 百万円となりました。その他分野においては、引き合いは出始めながらも受注には至らず、対前月増減率は 8.4%増、対前年同月増減率では 32.1%減の 12 百万円となりました。これらの結果、平成 28 年 5 月末の受注残高は、対前月増減率 9.9%増、対前年同月増減率 0.3%減の 367 百万円となりました。

今後の見通しとしましては、半導体分野では、拡大傾向が強まる見通しです。FPD 分野では、年末にかけて国内外で有機 EL 向けの受注が拡大し始める見通しです。また、テレビ向けの第 10.5 世代大型パネル製造装置は設備投資計画が具体化しており、受注品種拡大に取り組んでおります。

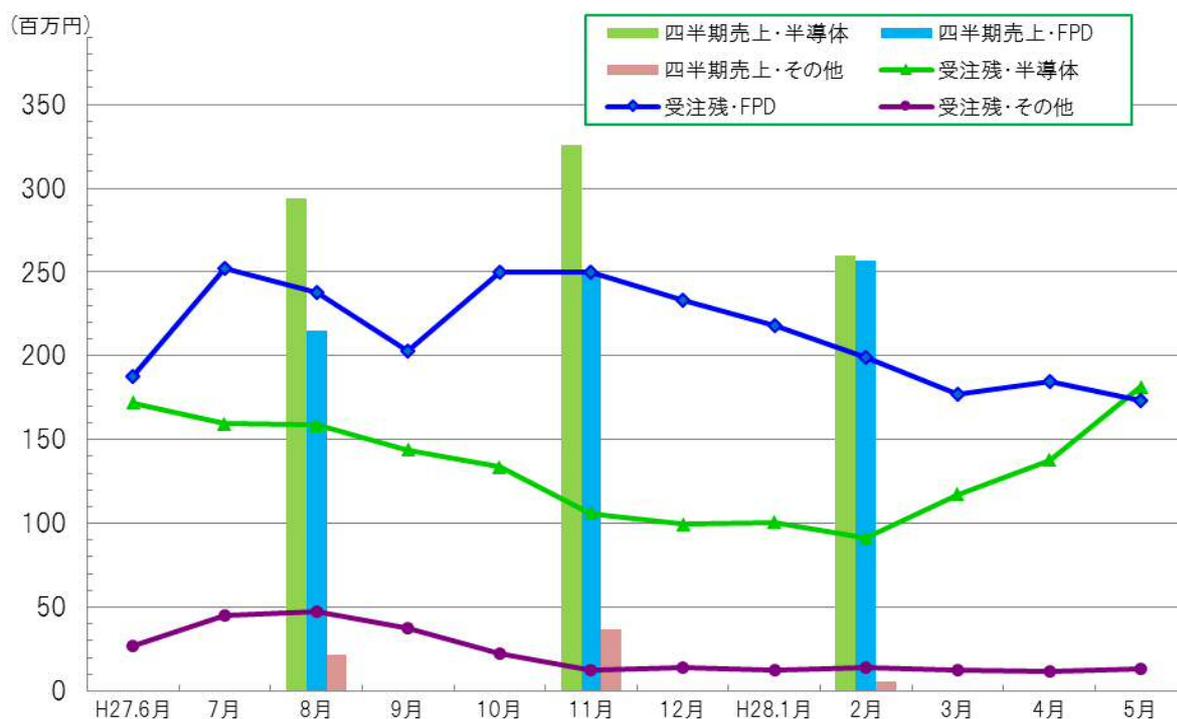
全般的には、良好な市場環境の中で引き合いが増加しており、当社の試作能力および生産キャパの拡大が課題となっております。

4. その他

当社が進めている研究開発の一環としてリハビリ装置の開発があります。その進捗について、平成 28 年 8 月期第 2 四半期決算説明会資料で「今期中に試作機を完成させる予定」としておりましたが、社内キャパの問題で、他案件に能力を取られ設計が遅れたことと、モーター等の購入品に長納期品が必要となったことから、当初の見通しより 3 カ月ほど遅れて 11 月の試作機完成予定となりましたのでお知らせいたします。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。